

平成17年11月

市・町・村
様

小規模多機能研究プロジェクト代表
北星学園大学社会福祉学部 杉岡直人

「地域密着型の小規模多機能サービス拠点」に関する
聞き取り調査へのご協力をお願い

謹啓 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、私どもは、2005年度の厚生労働省の科学研究費（長寿科学総合研究H17-長寿-030）の助成を受けて、「地域密着型の小規模多機能サービス拠点」*の展開に向けた課題の把握と地域での成立要因について調査研究を行っております。

研究では、全国の自治体における小規模多機能サービス拠点の取り組み状況及び今後の対応方針について、高齢者福祉関連部署の方々のお考えやご意見について、聞き取り調査によって伺いさせていただくことと致しました。

つきましては、ご多忙中誠に恐縮に存じますが、何卒本調査研究の趣旨をご理解いただき、調査にご協力賜りますようお願い申し上げます。

お聞きしたい内容、及びご提供いただきたい資料は下記のとおりでございます。

なお、日程等につきましては、改めて調査実施機関の担当者よりご連絡させていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

敬具

「地域密着型の小規模多機能サービス拠点」とは、高齢者の自宅や地域での暮らしを支える「通い、泊り、居住」のサービスを提供する、地域の小規模な多機能施設等と考えています。施設サービスと在宅サービスの枠を超えたサービスを提供する役割を担うものと想定しています。

記

■主なお聞きしたい内容：

- ①高齢者福祉施策の現状と課題
- ②今後の高齢者福祉施策の方針
- ③地域密着型の小規模多機能サービス拠点の展開の可能性
- ④地域密着型の小規模多機能サービス拠点を展開する際の課題、支援の可能性 など

■ご提供いただきたい資料：高齢者福祉関連の事業計画 など

＜本調査に関する問い合わせ先＞

〒004-8631 札幌市厚別区大谷地
北星学園大学 杉岡研究室・島津研究室
電話 011-891-2731 FAX 011-894-3690

■貴自治体の高齢者福祉サービスの現状と課題についてお知らせください。

問 地域福祉施策を総合的に推進していくために、地域福祉計画を策定されましたか？
策定済みであれば資料等提供いただきたくお願い致します。また、今後策定の予定或いは予定がない場合にはその概要についてお知らせください。

⇒具体的に（予定のある場合はその時期、策定しない場合はその背景や要因について）

問 高齢者福祉の担当部署に所属する、福祉関連専門職種の職員の状況についてお知らせください。

福祉部署の専門職員数					
社会福祉士	(名)	介護福祉士	(名)
保健師	(名)	その他	(名)
いない					
その他の部署の専門職員数					
社会福祉士	(名)	介護福祉士	(名)
保健師	(名)	その他	(名)
いない					

問 貴自治体で特に力を入れている高齢者福祉施策についてお知らせください。

⇒特に力を入れている高齢者福祉施策、特徴的な施策など

問 貴自治体において住民からの要望の高い高齢者福祉サービス、及び供給が不足している高齢者福祉サービスについて、例を参考にお知らせください。

- 例) ①在宅福祉サービス
②寝たきりや認知症などの介護予防事業など
③福祉サービスに関する情報提供
④特別養護老人ホーム等高齢者福祉施設の整備
⑤介護者向けの介護技術等の情報提供
⑥介護保険対象外のいきがい支援サービス
⑦泊りサービス

⇒具体的に

問 貴自治体の「高齢者保険福祉計画」及び「介護保険事業計画」における課題や施策には、「地域密着型の小規模多機能サービス拠点」に関連する記載内容が含まれていますか？
含まれている場合にはその概要についてお知らせください。

⇒具体的に（記載内容の概要とそれにもとづく施策展開の状況について詳細に）

■貴自治体の今後の高齢者福祉施策の方向についてお知らせください。

問 今後2～3年で整備を予定している施設や、増やしたい高齢者福祉サービスの分野について、例を参考にお知らせください。

- 例) ①特別養護老人ホーム ②老人保健施設
 ③地域包括支援センター ④在宅福祉サービス
 ⑥グループホーム ⑤地域密着型の小規模多機能居宅介護
 ⑥介護保険外の福祉サービス ⑦その他の高齢者福祉サービス

⇒整備したい施設、増やしたい高齢者福祉サービスなど

- 貴自治体の地域密着型の小規模多機能サービス拠点の展開可能性についてお知らせください。

なお、ここでお聞きしたいことは、介護保険制度に規定される「小規模多機能型居宅介護」事業に限定しておりません。貴自治体独自の取組みについてお伺いできればと考えております。

問 今後、地域密着型の小規模多機能サービス拠点を整備して行くうえで、貴自治体で可能性のあるような展開パターンについて、例を参考にお知らせください。

- 例) ①従来からある宅老所からの展開
②特別養護老人ホームからの展開
③社会福祉協議会のネットワークを活用した展開
④グループホームからの展開
⑤医療法人による展開
⑥定年退職者等の自己実現型活動からの展開
⑦NPO法人等による展開 ⑧営利企業による展開

⇒具体的に（小規模多機能サービス拠点に発展しそうな施設・事業主体等）

問 地域密着型の小規模多機能サービス拠点を地域において整備しようとした場合、サービスのカバーエリアについてはどのようにお考えになりますか？

⇒具体的に（エリア設定のポイント、課題など）

問 地域密着型の小規模多機能サービス拠点を展開する際の課題について、例を参考にお知らせください。

- 例) ①サービスを提供する事業者がない
②サービスを必要とする人がいない・ニーズがない
③スタッフとして雇用できる人材がない
④すでにサービスが充足しており展開する必要性がない
⑤その他

⇒具体的に（介護保険制度面の課題を含めて詳細に）

問 地域密着型の小規模多機能サービス拠点の展開・普及に向けて、民間介護事業者等に対する一般的な支援策として必要なこと・可能なことについて、例を参考にお知らせください。

- 例)
- ①介護保険制度の活用面での支援
 - ②施設の運営面での相談・助言
 - ③土地の斡旋・提供（借り上げ費用の補助を含む）
 - ④建物の斡旋・提供（借り上げ費用、改修費等の補助を含む）
 - ⑤施設の広報・宣伝
 - ⑥専門的な知識を有する人材の紹介
 - ⑦利用者の紹介
 - ⑧介護技術に関する相談・助言
 - ⑨医療・福祉施設との連携に関する相談・助言
 - ⑩スタッフの研修・教育に関する支援
 - ⑪情報提供（先進事例の紹介・情報交換の場の提供等）
 - ⑫人材の確保
 - ⑬その他

⇒具体的に

ご協力ありがとうございました。